

CPT-11+Panitumumab療法				
		Day		
薬剤名	用法用量	1	8	14
ベクティビックス (Panitumumab)	6mg/kg ※1 点滴静注(初回60)	↓		
イリノテカン (CPT-11)	150mg/m ² 点滴静注(2時間)	↓		

※1 2回目以降は30分でも可能

【制吐対策】

① 5-HT受容体拮抗薬 (Day1)

② デキサメタゾン静注9.9mg 1V (Day1) デキサメタゾン経口8mg (Day2~3)

【基本事項】

EGRF陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS野生型のみ

【レジメンポイント】

- ① 前投薬の確認、イリノテカンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ② 白血球数3000mg/mm³未満、好中球が1500mg/mm³未満または血小板数が10万/mm³の場合は投与を中止または延期

【併用注意薬】

イリノテカンはCYP3A4で代謝されるため併用薬注意、グレープフルーツも

【主な副作用】

下痢、骨髄抑制、脱毛、Infusion riaction、皮膚症状、爪囲炎、低Mg血症